ASA

あさまる通信

第25号　8月

発　行：習志野販売株式会社
〒275－0016
千葉県習志野市津田沼5-11-10 吉田ビル3F
TEL　047-454-2355　FAX　047-454-2357
URL　http://www.asamaru.com/
e-mail　info@asamaru.com

◘八坂神社祭礼「天王様」

7月13日（日）に八坂神社祭礼が津田沼地区で行われました。これは津田沼４丁目の京成電鉄軌道敷きの隣にあり、通称「天王様」の祭礼です。伝承によると「八坂神社」は「牛頭天王宮」（ごずてんのうきゅう）と呼び、日の神「天照大神」（あまてらすおおみかみ）の弟である「須佐之男命」（すさのおのみこと）を祭神としています。八坂神社は津田沼の各地の人々から家内安全･商売繁盛の守護神として信仰されています。八坂神社は京都の祇園にある八坂神社から派生したものといわれています。「牛頭天王」はインドの釈迦の生誕地にちなむ祇園精舎の守護神であり、新羅（現在の韓国）に牛頭山という山があり、熱病に効果のあるセンダンを産したことから、この山の名前を冠した疫病の神と同一視されました。さらにインドの密教や陰陽道の信仰とも混じりあって、神仏習合の形で祇園信仰が広まりました。つまり国固有の神道と、インドに成立した仏教と、中国の道教等の習合によって生み出された、国際的な神様なのです。

まず天王様は八坂神社の境内で、神輿を担ぐ白半纏を身に付けた60名ほどの担ぎ手が、神妙な面持ちで無事を祈願するお祓いを受けていました。お神酒を飲み神輿にもお祓いが行われると出御です。現在の神輿を担ぐ形なったのは、前回行われた七年祭りの後からだそうです。それまでは屋台や出店などが出る小規模の祭りでした。青年代表の高梨順一さんが「今年は七年祭りだ、みっともねぇ担ぎ方をするんじゃねぇぞ！」と喝を入れ、菊田囃子を先頭に八坂神社を後にしました。約500キロの重さの神輿が10時に八坂神社を出御し、北はＪＲ津田沼線路近く、南は国道14号線、津田沼小学校や習志野第一病院と、途中休憩を交えながら17時まで津田沼地区を担ぎ回りました。菊田囃子の音色と担ぎ手の「オリャ、オリャ」とのかけ声中、神輿係の笛の合図で神輿を頭上まで高々と担ぎ上げると、勇壮な担ぎ手の姿に見物人から歓声や拍手が湧きあがっていました。途中ご利益を得る為に、お賽銭を投げる方もいました。祭りは最高潮に達して、八坂神社に戻ってきました。

◘地名の由来

皆さんが住んでいる町の名前の由来を、ご存知ですか?例えば「久々田」。今はこの地名はなくなってしまいましたが、昔は津田沼の一部をそう呼んでいました。ここで少し、紹介しましょう。

◎久々田…現在の津田沼の旧地名です。クコの木が多く、田が菊田川に沿って長々と続いていたので長々田などといい、それぞれが訛って久々田といわれていました。

◎津田沼…旧村の谷津の「津」、久々田の「田」、鷺沼の「沼」の3文字を取って名付けられた地名です。津田沼は明治時代に近くの村が連合し出来たため、その村々の名前から文字をとり名付けられました。

◎谷　津…ヤツ（谷）・ヤチ・ヤトともいい、アイヌ語で高台や丘陵に入り込んだ谷や低湿地を指します。鎌倉時代以降に関東地方で多く付けられた地名といわれています。

◎鷺　沼…昔、堀田川という川の源流に沼があり、現在は埋め立てによって宅地化された所も以前は田があり、広い沼地のようになっていました。江戸時代に書かれた「相馬日記」にも江戸へ向かう途中で通った地名として次のように書かれています。～～「鷺沼」は鎌倉二品（源頼朝）の、暫し陣所とせられし里にて、昔はさるべき大沼ありけんに、今は形ばかり残れるも見れず。～～鷺の群れが飛ぶ沼のあった地が、鷺沼の地名を生んだのでしょう。

◎袖ヶ浦…古来より東京湾の奥一帯を指す海岸名です。大和時代に日本武尊（やまとたけるのみこと）が東征の折、弟橘媛（とおたちばなひめ）が荒海を鎮める為に入水しました。その媛の衣の袖が海岸に流れ着いたという伝承によると言われています。千葉県にはもう1つ袖ヶ浦という地名があります。

◎香　澄…香澄は春のうららかなかすみをあらわしています。同じ読み方の「霞」は秋の季語となります。また同じ春でも夜に使われる「かすみ」は「朧」（おぼろ）となっています。

◎芝　園…夏に草木が茂る様子を、美しい緑の芝にちなんでつけた地名です。

◎秋　津…秋の京葉港（津）の美しさをたたえた地名です。秋の代表的な季語の蜻蛉の事を「あきづ」とも言います。

◎茜　浜…冬の海に映える、夕日の美しさをたたえた地名です。「茜」は秋の季語の印象がありますが、新春の季語として「初茜」があります。

古くからの地名からは、昔は田が、それは片袖が習志野市へもう1つの片袖が袖ヶ浦市に流れ着いたとも言われています。昭和41年に海の第一埋め立てにより市に編入され、地名に名付けられました。

◎香　澄…香澄は春のうららかなかすみをあらわしています。同じ読み方の「霞」は秋の季語となります。また同じ春でも夜に使われる「かすみ」は「朧」（おぼろ）となっています。

◎芝　園…夏に草木が茂る様子を、美しい緑の芝にちなんでつけた地名です。

◎秋　津…秋の京葉港（津）の美しさをたたえた地名です。秋の代表的な季語の蜻蛉の事を「あきづ」とも言います。

◎茜　浜…冬の海に映える、夕日の美しさをたたえた地名です。「茜」は秋の季語の印象がありますが、新春の季語として「初茜」があります。

古くからの地名からは、昔は田の多い湿地帯だった事が推測されます。習志野市の3分の1は埋立地です。香澄・芝園・秋津・茜浜は昭和52年に第二埋め立てにより市に編入された地域で、万葉集の歌の中からふさわしい文字を採って地名が付けられたといわれています。近年の開発により埋め立てられた土地に、風情のある名前が付けられているのは面白いですね。この由来は市役所などの資料から書き出したものです。もし違う説をご存知の方がいらっしゃいましたら、あさまる通信までご一報下さい。

プレゼントは、裏面にあります!!

あさまるinfo

✹習志野きらっと2003
「キラキラきらっと夏まつり」
場　所　市役所通り、市役所前グランド
日　時　7月27日（日）午前10時～午後9時

✹ふるさと香澄夏まつり
場　所　香澄近隣公園
日　付　8月2日（土）・3日（日）
内　容
2日：習志野市内を中心とした、高校生バンドの演奏・カラオケ選抜大会・「たけし＆りよ」によるメジャーリーグ応援歌・千葉ロッテマリーンズのマスコット「マー君、リンちゃん、ズーちゃん」も参加・定番の盆踊り・屋台・フリーマーケット（午前11時から）・福祉バザーなど
3日：山車（習志野市内で一番おおきな）が香澄町内を練り歩きます(午前10時～午後3時)・香澄公園では、午後1時からバルーンアート（風船の動物園）ジャンボスライダー・ミニバスケット・シャボン玉コーナー・習志野市民バンドの軽音楽演奏・香澄小学校金管バンド演奏・第七中学校ブラスバンド演奏・香澄御囃子連の祭囃子・マジックショー・日本舞踊（晴山会）・盆踊りなど

✹袖ヶ浦団地自治会盆踊り
場　所　袖ヶ浦西近隣公園
日　付　8月9日（土）・10日（日）

✹ワイがや祭り
場　所　サンロード広場（京成津田沼駅前）
日　時　8月23日（土）・24日（日）午後7時～